



正しい傘の扱いを身につけ 雨の日を安全に過ごそう

6月になりました。雨の日が続くこの時期は、傘を差して歩く機会が増えてきます。自分自身はもちろん、周りの人たちも安全に過ごすためには、傘の正しい扱い方を身につけることが大切です。保護者の皆さんが手本となり、教えてあげてください。

かさの あんぜんな もちかた



まえが みえないよ。



ぐらぐら しちゃうよ。

かさを さす ときは りょうてで しっかり にぎって
まわりが みえるように まっすぐ たてて もとうね。

保護者の方へ 傘を差す時には、まっすぐ立てるように持ち、周囲が見通せるようにしましょう。片手で傘を持つと、風であおられた時にバランスを崩してしまいますので、しっかりと両手で持つようにしましょう。

かさを さす ときの やくそく



かさを ひらく ときは
まわりに ちゅういする。



まわりに みずが とぶので
くるくる まわさない。

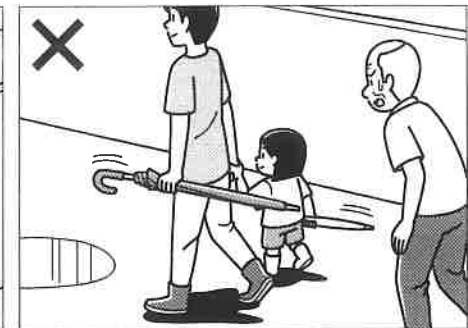
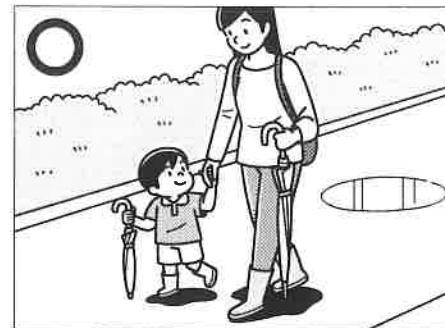


かさを ふりまわして
あそばない。



きちんと たたんで
かさたてに たてる。

とじた かさの もちかた



とじた かさを もつ ときにも ほかの ひとに かさの
さがが むかないように まっすぐ たてて もとうね。

保護者の方へ 閉じた傘を横向きに持ち歩くと、傘の先を他人に向けてることになってしまいます。保護者の皆さんは、子どもたちの手本となる姿を見せてください。

7月号では「夏の野外で気をつける虫」について取り上げます。